

第1回山北地区地域審議会が出された意見の整理

(1) 協働のまちづくりの話もあったように、これからの地域づくりは官民協働の取り組みがなければ出来ない。ただ、現在の「協働」という言葉は、行政から押し付けで、“やらなければならない”というふうに感じてしまう。7万住民に対する説明をしっかりとしないといけない。本来の目的“自分の地域は自分たちが良くするんだ”という理念がないと「いい仕事」ができない。住民への周知も誰が読んでもわかりやすいものが必要。

(2) 行政の支援について、表に出た支援はダメ、行政が後ろから支援する、引いたり押しつきの仕掛けをいかにできるかが大切。

新たな自治振興室では住民を主体とした支援ができる仕組みづくりをしてほしい。例えば、集落の作業などの際には集落で保険をかけている。住民は作業により集落をよくする。行政は作業の保険などに対する支援を行うなど具体的な形で支援を行ったほうが良いのではないか。

(3) 大きな集落でも小さな集落でも集落自治の運営は同じことをしなければならぬ。集落内も高齢化が進み、運営手続きが面倒。もう少し集落の自治への支援を願いたい。

(4) 小さい集落は高齢化が進み限界集落といっても過言ではない時代が迫ってきている。そうなった場合、行政は中央に集約されていくことも考えられる。そういった中で、地域活性化をどういった施策で行うか、また地域にどうやって還元するかを検討しなければならない。

(5) 自主防災組織も日中の時間帯など高齢者ばかりでまったく機能しない。自主防災会の組織については二の足を踏んでいる状況である。

(6) 消防団員の減少が著しく、消防団員がゼロという集落もある。災害時の対応なども消防団で対応出来るのか不安がある。行政として早急な対応が必要である。

(7) 集落での防災体制は自主防災会を強固にしていくことになると考えているが、義務的に自主防災会を作るようにしないとできないのではないかと。自主防災会と消防団との関連もきちんと検討しなければならないと考える。

(8) 支所の活性化を図るため、予算・補助金の配分、事業の執行ができるようであればならない。本所でなければ用が足らないというのはダメ。住民からの声で「合併したら支所ではさっぱり対応してくれない」という言葉が聞かれる。どこの支所でも対応できるような施策が必要。

(9) 山北地域は山あり谷ありの地形で、職員は100人に1人といっても、平場の100人に1人とは同じにはできない。広い地域を抱えていてもサービスが低下しないように地域のことを考えていただきたい。

(10) 行政からの補助金の減額や運営費を補助対象外とするなど、厳しい状況が迫っている。また、役所機能の集約などにより、交流人口の減少や業者の出入りが減り、売上が落ちた業種もある。

このような中で、本来の事業ではない環境問題なども含め地域振興のための事業に取り組んできたいと考えています。

事業実施にあたって予算が足りない、行政の支援がないということで止める終えない事業もあります。自治振興室というものが設立されれば、そちらと連携も図りたいと思います。

(11) 自治振興課、自治振興室の早めの設立をお願いしたい。

(12) 産業支援を進める上で、災害による復旧災害採択基準が厳しく支援がないため、支援がないと後は作らないという現状にある。耕作放棄を防止する観点からももう少し基準を緩和するようにしてほしい。

また、災害採択基準の元となる雨量計などもこまめに設置してほしい。

(13) 合併したら出来なくなったということではなくて、代替策としてこういう形で出来ますよということを行政から積極的に説明をしてほしい。

(14) 若者の定住要件として就労の場、経済の確保がありますが、これは企業誘致や新しい事業所の創設も必要であると思うが難しいと思います。それ

らも目指しながら、若い人が地域に対する関心や思いを育むことが必要だと思います。地域を愛することによって定住する人も出てくると思います。若い人を行政、まちづくりに対する参画させる仕組みを考え、地域を理解し考えるようになってくればと思います。他の4つの地域との相互交流もあればと思う。

(15) 地産地消の推進ですが、山北は「海・山・川」の産物もあるのでそれらを使い、給食センターで全面的に使う、または、老人福祉センターで使うなど、大きなところからではなく、小さなところから地産地消の取り組みを進めていく必要があるのではと思います。

(16) コミュニティバスについては、山北は集落が点在しているので出来れば小さなバスが定期的に地区内を回る仕組みが必要。

一日1、2回定期的運行で利便性にも繋がり、もう一つ、運転手、乗務員などの雇用の創出にもなります。

(17) コミュニティバスは利便性をよくし、高齢者が利用しやすくなればと思います。特に山北は放射線状の道路しかない不便なところなので、そんなところも考慮していただければと思います。

(18) 同じ交通に関連して、高校生を勝木駅まで送迎しますが、非常に車の台数が多く、集落の方々も迷惑しているのではと思うほどです。バスに乗らないのはバス料金が高くて利用できないのです。車が渋滞するほどの利用者がある状況なので何とかバス利用に対する支援などがあればもっといいのかと思います。

また、家族にもゆとりが持て、交通安全などにも繋がってよいのではと思います。

(19) 今後の支所機能の充実として、5地区画一的な予算配当はしないということですが、さらに、各地区の個性を創出するため自由に使える予算を配当していただきたい。

(20) 市の要請により各集落で共同作業を行っていて事故等が発生しても市の保険適用にならない場合がある。集落への周知が必要であると思います。